

だいせん市議会だより

あなたのギカイ

令和6年11月1日 第78号 9月定例会の内容を分かりやすくお伝えします。

学校運営の課題等を 話し合いました



CONTENTS

- こんなことが決まりました……………P 2
- 令和5年度決算審査……………P 4
- 聞いてみたいこんなこと……………P 6
- 行政視察報告等……………P11
- きかせて! あなたのミライ……………P14

場所：大仙市立太田南小学校
(教育厚生常任委員会所管事務調査)

第3回定例会 議案審議

大仙市の

こんなことが決まりました

第3回定例会 会期29日間 8月28日～9月20日



第3回定例会

第3回定例会

専決処分報告	1件
人事案	2件
条例案	3件
単行案	9件
補正予算案	5件
決算認定	19件
陳情	2件
意見書	2件

今号では
この中から
3つを
Pick up

全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページをご覧ください。



〈報告第9号〉 専決処分報告について
(令和6年度大仙市一般会計補正予算(第4号))

Pick up 1

7月の大雨による農作物等の 被害復旧を支援します

令和6年7月9日および24日の大雨により、農作物や農業生産資材等に被害を受けた農業者に、農業経営再開に係る種子や資材の購入等、再生産に向けた取り組みに対する補助金を交付し、農業経営の早期再建を支援します。

こんな質問が出ました

Q 積算の根拠について、被害に合われた農家が今後、全員申請した場合でも100パーセント補助金交付される認識でよいのか。

A 作目や被害面積により積算したものであり、対象となった申請があつた農家には100パーセント交付する。

Q 今回の災害について県の対応はどのようなになっているか。

A 7月の災害については、過去の実績と同じ補助率で進めている、と県より回答をいただいている。



Pick up 2

母子手帳アプリ「母子モ」を活用し、予防接種予診票と接種記録をデジタル化します

小児予防接種における予診票のデジタル化を進めるため、現在、紙で配布している予診票を母子手帳アプリ「母子モ」の機能を活用し、接種記録とあわせてデジタル化します。

保護者・医療機関・市の三者の作業効率を改善につなげ、より安全・安心な小児予防接種を目指します。

こんな質問が出ました

Q 高校生や成人している人も予防接種の関係で母子手帳が必要な時がある。幅広い年齢層が対象となるが、どのような形で移行していくのか。

A 母子手帳アプリが従来の母子手帳の内容を完全に補完するものではなく、紙の母子手帳は現在も交付している。上の年代の予防接種対象者には今までどおり通知による勧奨、紙の予診票も使うこととし、ある程度の期間はデータと紙が混在することになる。

■「紙（冊子）」の予診票からスマホで操作できる「デジタル」の予診票へ移行します。

※出生時にまとめて配布



Pick up 3

鈴木空如筆「法隆寺金堂壁面模写」の表装経費の資金調達に係るクラウドファンディングを実施します

令和4年度から5年計画で実施している、鈴木空如が模写した1作目の法隆寺金堂壁面の表装替え作業について、クラウドファンディングを活用した資金調達を行います。

こんな質問が出ました

Q 鈴木空如筆金堂壁面模写について、国の指定を受け、文化庁の補助が受けられるよう、市で強力に働きかけを進めていくべきと思うが、いかがか。

A 鈴木空如筆金堂壁面模写は3組あるが、そのうち1作目と3作目は市所有であり、2作

目は民間団体が所有している。研究者の意見では3組がそろって国の重要文化財指定の可能性があると伺っている。今後とも国指定の可能性を模索するため引き続き情報収集等に努めてまいりたい。



令和5年度決算を認定

9月6日、9日および10日の委員会ですれぞれ所管する部分の令和5年度決算審査が行われ、9月20日の本会議で全ての決算が認定されました。

各委員会の主な審査意見を紹介します。

総務企画常任委員会

○アーカイブズ関係経費に関連して、公文書整理に当たっては、膨大な量を扱われていることと思うが、計画に沿って順当に作業を実施されたい。また、寄贈された資料をはじめ、貴重な地域資料等の保全・補完についても取り組みを進められたい。

○普通財産の貸付一覧に関連して、貸付契約を一部他課で担当しているものがあるが、財産活用課に一本化された方が事務効率が良いと考える。特段の場合を除き、現課に置かなくてもよい業務は財産活用課に引き継ぎできるよう検討されたい。

○広報活動費に関連して、ホームページやSNSを活用し、行政情報の発信に努められていることを評価している。公式LINEについては、登録者の属性別にプッシュ型で情報配信する機能をさらに活用し、市内で行われるイベントなどの情報も扱うことで、より細やかで頻度の高い情報発信ができるよう努められたい。

教育厚生常任委員会

○債権管理について、債権管理課においては、滞納処分に日々尽力し、年度における目標を掲げ、それ以上の成果を出しているなど、市の財源確保に貢献していると言える。引き続き、関係各所との連携を図り、適正な債権管理を進められたい。

○ゼロカーボンシティ推進事業について、生活環境課においては、蓄電池や太陽光パネルなどの購入補助を行っているが、周知が充分とは言えず、脱炭素社会に向けた意識が市民に十分に浸透していない現状にある。必要性の高い事業であるので、具体性を持たせ有効な使い方を示すことで、今後市民が活用できる環境を整えていただきたい。

○高齢者に係る包括的支援事業等については、高齢者包括支援センターにおいては、様々なメニューを用意している。認知症などにより判断能力が不十分な方をサポートする成年後見制度利用支援事業などは、高齢化社会における現代において関心が高いと思われることから、支援制度の充実とともに広く周知に努められたい。

○スクールバス運行事業費については、教育総務課においてスクールバスを運行しており、遠距離通学となる児童の通学難の解消が図られているところである。乗車時間やルートなど効率性と利便性の高い運行を計画されたい。今後においては児童数の減少が見込まれるため、運行業務について委託とするか直営とするかなどの業務形態における費用対効果を比較されたい。

産業建設常任委員会

○「農業と食」活性化推進事業においては、商品開発や加工品実需調査業務を委託し、その成果をもらうことをゴールとせず、それらを活用し、さらに発展させるような取り組みをされたい。生産者や実需者等に情報発信し、所得向上へつながる取り組みを期待したい。

○大仙市雇用助成金事業について、今の経済情勢の変化にあった事業内容で、「今」を適切に捉えており評価したい。地域産業の中で何が優先かを考えていただき、経済産業部が抱える多くの事業をよく精査され、企業側にも求職者にもメリットがある事業や小規模でも頑張っている方々が今後意欲を持って経営ができるような活発な事業の展開を期待したい。

○除雪の出動命令は旧市町村単位で行っているが、その枠にとらわれず、同じ降雪状況の地域に合わせ出動させるような仕組みを今後検討されたい。また、除雪オペレータについては、高齢化が進み担い手不足となっている。若者から興味を持っていただけるような取り組みを今後検討されたい。

令和5年度 会計別決算

(単位:円)

会 計 名			歳入(収入)	歳出(支出)
一 般 会 計			52,305,753,732	49,789,828,463
特別会計	国民健康保険事業		8,482,698,300	8,261,245,948
	後期高齢者医療		1,043,032,254	1,042,387,754
	学校給食事業		1,049,122,636	1,036,900,876
	奨学資金		43,476,414	30,406,455
	企業団地整備事業		334,193,065	334,188,065
	スキー場事業		80,480,098	75,405,098
	太陽光発電事業		162,416,273	137,823,880
	小水力発電事業		1,017,909	1,017,909
	財産区(6地区)		30,982,137	27,303,711
企業会計	市立大曲病院事業	収益的支出	930,262,956	892,811,109
		資本的支出	248,673,000	307,731,773
	上水道事業	収益的支出	881,205,985	761,124,254
		資本的支出	21,541,498	388,508,873
	簡易水道事業	収益的支出	1,293,915,185	1,073,210,250
		資本的支出	488,043,600	887,972,668
	下水道事業	収益的支出	3,408,376,286	2,779,824,798
資本的支出		1,459,727,714	2,324,301,340	
合 計			72,264,919,042	70,151,993,224

※企業会計について、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんしています。

討 論

第3回定例会で討論された
内容を紹介します。

議案第117号「令和5年度大仙市一般会計歳入歳出
決算の認定」に対し、次のような意見がありました。

反対討論

佐藤 文子 議員(日本共産党)

マイナンバーカードの申請率は91パーセン
トに達しているが、その利用率は自動証明書
発行で13パーセント台にとどまり、マイナ保
険証を利用する国保加入者は9・71パーセン
ト、後期高齢者は4・63パーセントとさらに
低い。これらのデータは、マイナ保険証が利
用者にも医療機関にも利便性が低く、現行の
保険証を廃止する状況ではないことを示して
いる。また、マイナンバーカード普及の背後
には国民の個人情報一元管理し監視を強め
る意図があるため、これには反対である。

賛成討論

安達 成年 議員(大地の会)

大仙市の財政運営は健全であり、過去二番
目に高い実質収支21億5,800万円が確保
されている。市税の収納率は96・1パーセン
トに達し、自主財源の確保が進んでいる。市
債残高は着実に減少しており、市債の繰上償
還によりさらなる財政の健全化が期待され
る。重点事業の推進や市民サービスの水準維
持のために必要な部分も認められるが、財政
調整基金の取り崩しや減債基金の積み立てが
行われており、合併特別債の終了も踏まえ
引き続き、今後の財政手腕に期待したい。

令和6年第3回定例会 賛否一覧

議案等名	会派・議員名	議決結果	大地の会					だいせんの会					新政会				公明党		市民クラブ	日本共産党				
			鎌田正	金谷道男	大山利吉	佐藤育男	後藤健	山谷喜元	安達成年	青柳友哉	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	石塚誠	橋村徳久	戸嶋貴美子	渡邊秀俊	小松栄治	小笠原昌作	橋本琢史	本間輝男	秩父博樹	挽野利恵	佐藤隆盛
議案第105号 大仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第111号 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第117号 令和5年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

賛成者は○、反対者は●、欠席者は「欠」とします。議長は採決に加わりません。

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関わる内容がありますか？

質問議員 8 人 質問項目 12 件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。

「有機農業とオーガニック給食」について



高橋 徳久
(だいせんのかい)



Q 市の有機米の作付け状況はどれくらいか。

A 本市では日本農林規格等に関する法律に基づき認証されている有機JAS認証事業者はおらず作付けされていない。

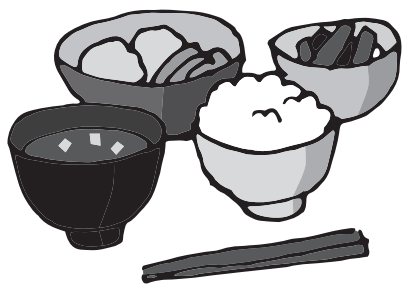
Q 有機農業についての取り組み、所見を伺う。

A 信頼性の高い農産物の出荷や環境に配慮した農業経営、高付加価値化に加え、地域環境の継承に貢献できるものと認識している。

有機農業の流れにもなっていることを踏まえ、取り組みのない課題についてはしっかりと検討していきたい。
令和8年度から第5次農業振興計画を新たに策定するに当たり、有機農業も当然関連があるものとして計画に載せ、農家の方が生産に取り組んでいただける形にしていきたい。

Q 国から「SDGs未来都市」に選定されている当市において、オーガニック給食について検討する場を設けるために、まずはそのためのビジョンを策定してはどうか。

A 有機農業のメリット、デメリットがそれぞれあるが、



「非核平和都市宣言」 20周年の取り組みについて



秩父 博樹
(公明党)



Q 「非核平和都市宣言」20周年と、広島・長崎への原爆

投下から80年の節目を迎えるに当たり、被爆の実相を伝える平和展を開催してはいかがか。

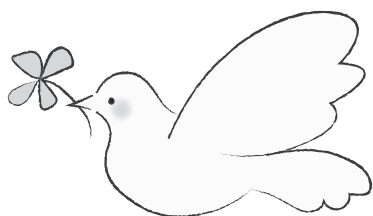
のない平和な世界の実現に向け、市民の皆さまとさらなる歩みを進めていく。

この他、日常生活用具給付事業について、また「気象防災アドバイザー」の採用について質問しました。

A 平成17年6月に決議された

「非核平和都市宣言」のもと、これまで各種啓発事業や終戦記念日にあわせた企画展の開催、非核平和レポート事業や平和標語コンクールなどを展開してきた。

戦後80年の節目に当たり、改めて先の大戦を振り返るとともに被爆の実相に触れ、当時の状況や被爆された皆さまに思いをはせる機会を創出する取り組みとして、VRゴーグルを使用した被爆体験、原爆写真や絵画の展示などが候補に挙げられている。戦没者の鎮魂と恒久平和への誓いを新たにし、核兵器の廃絶、そして争い



農業振興について



金谷 道男
(大地の会)



Q 農業経営基盤強化促進法に

よる地域計画について市での策定状況について伺う。

A 現行の人・農地プランの31地区を一部統合し、市内全域を16地区として、今年度中の策定を目標に進めている。

意向調査は、令和4年度末までに完了しており、策定の協議については、個別に通知しているほか市ホームページなどでも周知に努めている。

各地区において、協議を2回以上実施することが義務となっており、年内を目標に全ての協議を終える見通しである。市がコーディネートとなり、計画の策定をサポートしていく。

Q 近年の農業における生産量等の動向は。また、その背景をどのように考え、対策

しようとしているのか。

A 本市全体の農業産出額は、38億円減の192億円となっている。

農業振興における課題は、地域農業の担い手確保と農業所得の向上であると考え

る。地域計画の策定により、これらの課題に対処し、持続可能な強い農業の実現に向けて取り組んでいく。



道路・河川についての国や県との事業調整について



佐藤 隆盛
(市民クラブ)



Q 仙北地域振興局、湯沢河川

国道事務所との会議での、道路や河川に関しての国や県への要望件数、見通し等の結果内容について伺う。

A 国の事業では、雄物川の治水事業の推進、国道13号大曲・秋田間の整備促進の要望に対し、雄物川の段階的な整備や国道13号の課題解決に向け調査検討を進めるとの回答であった。

県の事業での、河川案件においては環境整備1件、河川改修5件など計7件、道路案件においては県道の拡幅改良7件や歩道の設置2件など計11件を要望。各河川の環境整備については20カ所の要望に対し土砂撤去や伐木など現在進めている3カ所の継続と新規2カ所の実施、河川改修については5件中3件を継続対応する。



道路要望については、道路改良7件中、現在実施中の路線4件を継続実施し、歩道設置については、現地調査を実施し、グリーンベルトの再設置を予算要望するとの回答であった。

その他、通学路の合同安全点検の実施状況について質問しました。

「マイナ保険証」の普及と利用促進等について



挽野 利恵
(公明党)



Q 12月2日から従来の「健康保険証」は新規発行されなくなり、その後は「マイナンバーカード」での保険証利用を基本とする仕組みに移行するが、この「マイナ保険証」利用に向けて、広報活動を推進し、市民への情報発信に取り組むべきと考えるがいかがか。

A マイナ保険証の普及は事務の効率化や利便性向上の観点から極めて重要であり、市では国民健康保険の保険者として利用推進に取り組んでいる。

取り組みとしては、利用推奨のリーフレットを窓口を設置し、保険証切り替え時に配布するなど、来庁者への勧奨を行っている。

また、全戸配布した国保だよりには、マイナ保険証のメリットやQRコードを活用した登録方法を掲載し

ている。

今後も、国保連合会などと連携を図りながら、利便性をより多くの方々に理解していただくため、引き続き積極的な情報発信に取り組んでいくこととしている。



大仙市の企業誘致の強化について



戸嶋貴美子
(だいせんの会)



Q 企業側に立った「なぜ大仙市に誘致しなければならぬのか？」を再度、自己分析・企業分析すべきではないか。

A 企業に寄り添った誘致活動ができるよう、東京都にある秋田県企業立地事務所に職員を1名派遣し、さらに東京在住の企業アドバイザーを1名配置し、企業要望や立地意向の情報をいち早く収集し分析できる体制を整えている。

トップセールスをはじめとする企業誘致活動を行い、情報関連産業の立地に対する支援制度と、小規模な企業に対する支援制度も創設している。

Q これまでは、多数の労働者を確保でき、低賃金での雇用を有利な点として企業活動が行われてきたが、人口



減少に伴い労働力不足が深刻化している。

2拠点生活を含む多様な働き方ができる、データセンター等の誘致活動を行うてはどうか。

A 今後、2拠点生活なども含む多様な働き方が可能となるような企業の誘致についても積極的に取り組んでまいりたい

自衛隊への個人情報「提供」問題について



佐藤 文子
(日本共産党)

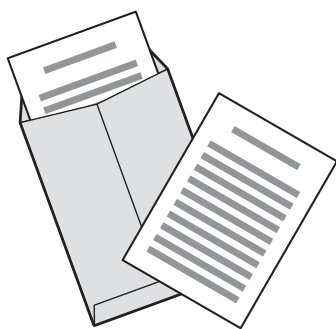


Q 自衛官募集のための名簿（住民基本台帳に記載される氏名、生年月日、住所および性別の4情報）の提供は、プライバシー権の侵害に当たり、改めるべきである。現在の提供方法を改め、住民基本台帳の閲覧により対応することを求める。

A 自衛官等の募集事務は法定受託事務として、都道府県および市町村が事務処理をすることとなっている。募集事務に関し、住民基本台帳の一部の写しを国に提出

できることについては、防衛省および総務省の連名により、現行においても実施可能であり、特段の問題を生ずるものではない旨の通知が発出されており、また個人情報保護法との関係でも「法令に基づく場合」に該当すると明示している。

こうしたことから、市で



は、防衛大臣からの募集対象者情報の提出の求めに対して、住民基本台帳の一部の写しを紙媒体で提供しているところであり、今後も同様の対応をしまいい。

この他、エアコン購入助成と設置率調査について質問しました。

クマによる人身被害への対策について



小笠原昌作
(新公会)



Q ここ数年、クマの出没が増え捕獲を担う負担も増大している。猟友会りやうゆうかいの捕獲活動には体力を必要とし大変な苦労があるが、市民の安全安心を守る「大仙市鳥獣被害対策実施隊員」の人手不足に対する取り組みはどのようなになっているか。

れる「罾わなセンサー」を導入するほか、隊員の活動時の安全対策として、ヘルメットやクマ撃退スプレーを配備している。

今後も隊員の要望を踏まえながら、総合的な対策を着実に進めていく。

A

鳥獣被害対策に携わる「大仙市鳥獣被害対策実施隊員」の人手不足に対する取り組みとして、ツキノワグマ被害防止対策の強化を図り、「第一種狩猟免許」取得に係る支援の拡充と併せ、「わな猟免許」の取得に係る支援を新規に創設し、資格取得を後押しする。

これにより、有資格者数の底上げを図り、新規隊員の確保につなげていく。

また、わな設置後の巡回に係る負担軽減を図るため、わなが作動した際に通報さ



令和6年度上半期 全国からの行政視察受け入れ状況

No.	月 日	市町村名	人数	視察項目
1	5月13日(月)	佐賀県鳥栖市	11	①小中学校における学力向上の取り組みについて ②放課後児童健全育成事業業務委託について
2	5月14日(火)	神奈川県座間市	9	大仙教育メソッドについて
3	5月15日(水)	新潟県南魚沼市	4	大仙市の粍殻ボイラー推進事業について
4	7月1日(月)	埼玉県狭山市	8	①大曲花火大会について ②大曲花火における民間の取り組み
5	7月17日(水)	長野県飯田市	3	①市役所組織改編のねらいと「少子化対策の司令塔」としてのこども未来部の位置づけ ②子ども子育て支援事業、「0～1歳の保育料無償化」と「いっしょにねっと」の取り組み
6	7月25日(木)	北海道岩見沢市	10	小中学校における学力向上の取り組み
7	7月25日(木)	島根県益田市	7	健幸まちづくりプロジェクトについて
8	7月30日(火)	宮城県美里町	8	①立地適正化計画について ②市街地再開発事業について
9	8月1日(木)	大阪府守口市	9	健幸まちづくりプロジェクトについて

大仙市のこんな取り組みが学ばれています

全国各地の議員の方々が、大仙市で取り組む施策について視察に訪れています。

担当職員による説明や、活発な質疑とともに大仙市の取り組みをPRしています。

注目されている大仙市の視察項目は

「小中学校における学力向上の取り組み」について
「健幸まちづくりプロジェクト」について
「子育て支援の取り組み」についてなどが挙げられます。

総務企画常任委員会行政視察報告

7月17日、北海道富良野市役所で「スマートシティ推進に向けた取り組み」を視察。「庁内」と「地域」という2拠点からデジタル化を進められており、庁内ではICTにより業務効率化を図るほか、タブレット端末とネットワークの無線化により、職員の業務環境のスマート化が図られていました。また、地域では実証試験で事業効果を測定しつつ、AIオンデマンド交通をはじめとした事業導入に結び付けており、市民や職員の「ストレス軽減」という観点からデジタル化を推進されている点が印象的でした。

7月18日、札幌市役所の広聴部門における「カスタマーハラスメント（カスハラ）対策」を視察。令和5年度から、オリジナルポスター作成・掲示、通話録音対応マニュアル作成により対策に取り組むほか、メディア等で対策の周知にも力を入れていきます。結果、カスハラの件数は減っており、職員からは効果を実感する声が聞かれているとのことでした。

（総務企画常任委員会

委員長 佐藤 芳雄 記）



札幌市での視察の様子



富良野市での視察の様子

教育厚生常任委員会行政視察報告

7月29日、京都府京都市の「京都御池中学校複合施設整備等事業」を研修してまいりました。

京都市では、早くから学校統合推進室を設置し、住民にも学校統合について認識いただいた上で、地域やPTAから統合要望書を提出し、そこから行政と一緒に議論を重ね、実施方針に反映させます。京都御池中学校には、近隣3小学校の6年生が通い、中学生と一緒に学校生活を送り、入学前から馴染むことで中学生スタート時のギャップを解消しています。複合施設の老人福祉施設では高齢者と触れ合い、保育所では9年生の家庭科授業である保育実習が行われ、多くの学びを得られるとのことでした。

また、7月30日は、京都府京田辺市にて「切れ目のない子育て支援について」を研修してまいりました。

産後間もなく、心身の不調により家事や育児が困難となっている家庭を支援する「産前・産後ヘルパー事業」により、慣れない土地での育児や、初めての子育ての負担が軽減される効果があるとのことでした。

（教育厚生常任委員会

委員長 山谷 喜元 記）



京田辺市にて「切れ目のない子育て支援」を研修



京都御池中学校内を視察する様子

教育厚生常任委員会所管事務調査

7月23日に、「市立大曲病院」および「太田南小学校」「太田中学校」の所管事務調査を行いました。

市立大曲病院では事務長より経営状況を説明いただきました。以前のピーク時に比べ、入院患者や外来者が減っている傾向にあり、それに伴い医業収益も減っており、一般会計からの繰入金も増えている現状のことから、財政面の健全性を求めることが必要と感じました。

現在、市立大曲病院経営強化プランに従い改革に取り組んでおり、地域との連携を図りながら専門病院として積極的に役割を果たしている姿勢が見られました。次に、小中学校の訪問においては、校長先生から学校を取り巻く課題について聞き取りしました。周年行事は、それぞれ学校の実行委員会が中心になって予算の確保を行なっているが何かと苦労があるようで、地域全体で学校を応援することが大切と思われ、地域枠予算を活用するなど工夫すべき点があると感じました。

(教育厚生常任委員会

委員長 山谷 喜元)



太田中学校にて学校運営の課題を伺う



市立大曲病院にて経営状況を伺う

産業建設常任委員会所管事務調査

7月31日、農林部所管の事業実施地区4カ所を視察しました。

はじめに、RTK基地局を活用しスマート農業に取り組みされている、農事組合法人強首ファームが管理する大豆ほ場を視察。自動操舵システムを活用し、作付面積26ヘクタールを1人のオペレーターで作業ができ、効率化が図られておりました。

次に、西仙北地域の公有林整備事業の作業箇所を視察。当局より市の発注状況、業者からは作業の進捗状況について説明を受けました。

次に、中仙地域の草薮畜産(株)の畜舎を視察。草薮宏明代表は各種補助事業を活用し、当初19頭の牛を103頭まで増頭した大変意欲のある若手畜産農家さんでした。現在の畜産情勢は大変厳しく、子牛の販売価格の低迷と飼料等の高騰が経営を圧迫していることを共有しました。

最後に、秋田県仙北平野土地改良区が四ツ屋地区の水利施設に設置しているLPWA(低消費電力で広域・長距離通信が可能な無線通信技術)基地局を視察。農業水利施設の監視・制御のほか、水田の自動給水栓の制御や河川水位等の監視など、他分野での利活用を図り、官民一体となった運用を目指しておりました。

※RTK基地局・GPS衛星等を活用した位置情報を補正する基地局

(産業建設常任委員会

委員長 挽野 利恵)



草薮畜産(株)にて畜産情勢を伺う



自動操舵システムの説明を受ける

大仙市畜産振興議員連盟が

秋田県和牛改良共進会を視察しました

8月25日に、あきた総合家畜市場（由利本荘市）において開催された「令和6年度秋田県和牛改良共進会」の視察を行いました。

この共進会は、県内和牛生産者の改良意識向上や調教技術の研さんを目的に開催されており、県内から選抜された黒毛和種17頭が発育や品位などについて審査を受けました。

大仙市からは若手農家を中心に7頭が出品され、県大会となるこの共進会においても上位入賞するなど活躍されておりました。そのうち2頭を出品した大曲農業高等学校畜産部の生徒も日頃の調教練習の成果を発揮し、若手農家とともに3年後に開催される「第13回全国和牛能力共進会」での活躍が期待されるところであります。

畜産情勢は依然として物価高騰や子牛価格の下落など厳しさを増している状況であり、今後も現場の声を聞き、担い手の育成や安定的な経営維持に向け支援してまいりたいと考えております。

（大仙市畜産振興議員連盟

会長 佐藤 育男）



第1区優等賞を受賞している様子



審査を視察している様子

議会改革推進会議が湯沢市議会で

先進地視察を行いました

市民との意見交換について：市民からより多くの声を聞くために、ワールドカフェ方式や出張形式など、多様な形で市民との意見交換会を開催。地域の問題や課題をより幅広く発見できるようになったそうです。

議会における政策の立案・提言の仕組みについて：市民の声を市政により反映させるため、政策立案等を協議する新たな場として、全議員で構成する議会改革推進会議を設置。政策研究や討議を重ね、令和5年度は1件の条例案提出と市長に対する3件の政策提言を行ったそうです。

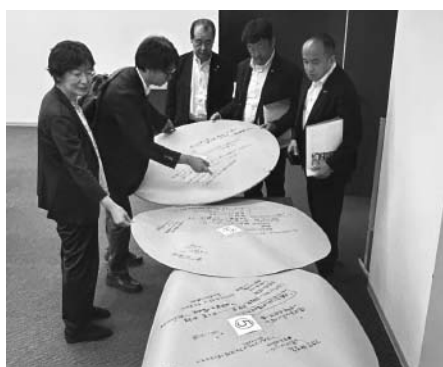
議員間討論について：自由闊達な討論を行う非公式な場を定期的に設定。議員間の意見交換が活発になり、議案審査や政策検討の能力が向上しているとのことでした。

また、これらの取り組みの効果を高めるため、研修会を継続的に開催していました。

視察内容を参考に、我々も議会改革を進める所存です。

（議会改革推進会議

委員長 青柳 友哉）



湯沢市議会の皆さまより説明を受ける

きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



さ さ き とう ま
佐々木 統真 さん (清水小学校6年)

■学校で好きなことは、友達としゃべることです。じゃんぷ学年のみんなはともおもしろくて、つい笑ってしまいます。みんな仲が良くいつも優しい仲間です。一番の思い出は修学旅行です。みんなと一緒に旅行できたことが、とても心に残っています。■休みの日、家族と一緒に過ごしているときは、ゆっくりできて、いろんな話をし、楽しい時間を過ごしています。■好きな教科は社会です。6年生になって、歴史を学習しとても好きになりました。昔の人が、どんなことを考え、どんなことをしたのか、興味がわいてくるからです。好きな人物は、源頼朝です。■将来は、遺跡発掘など歴史に関係する仕事がしたいと思うようになりました。これから自分の好きなことを仕事にするために、もっと詳しく探してみたいと思います。

12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
					本会議 議案等上程	
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 一般質問	本会議 一般質問等	各常任委員会 審査～12日			
15	16	17	18	19	20	21
				本会議 委員長報告等		

※定例会日程は変更される場合があります。
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵 送 ・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②FAX ・番号：0187-62-8822 (議会事務局専用)
- ③メール ・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードからメール
フォーム作成ページに遷移します。



議会の傍聴について

本会議および委員会は公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、議会開会日に、大仙市役所3階議会事務局窓口までお越しください。

請願・陳情について

12月定例会で審査される請願・陳情は、11月20日(水)までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

編集 後記

委員

佐藤 文子

■農地や農作物に甚大な被害をもたらした7月9日、24日の豪雨復旧のさなか、第3回定例会最終日の9月20日にも大雨が襲いました。例年より早く始まった稲刈作業は、稲が倒れた田んぼも多く、苦労が多く、合間に降り続く雨でなかなか進みません。収量も例年より少ないという声も。■9月の豪雨は地震からの復興半ばの能登半島に追い打ちをかけるように甚大な被害を与えました。多数の死亡者や行方不明者も出て、住宅の倒壊、浸水被害、停電や断水、刈り取り前の田んぼは泥に覆われるなど能登の人々は「地震の時よりひどい。」と語っています。■自然のもたらす恵みよりも自然の猛威に不安を抱きながら暮らす日々が多くなっているように思えます。第3回定例会を挟んで起きた今年の災害は忘れられてはならないと感じます。

FacebookとInstagramで議会の情報を発信しています



Facebook



Instagram

あなたのギカイ 14